

図1 カワウの薬物代謝酵素活性 (EROD活性) とダイオキシン類の体内濃度との関係

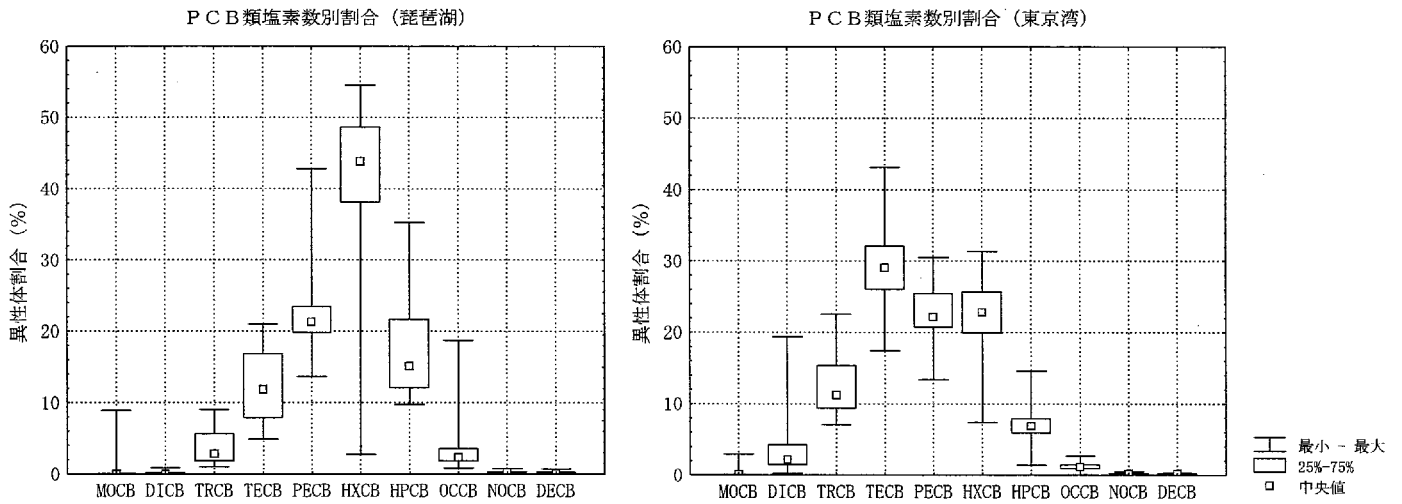


図2 琵琶湖 (左) と東京湾 (右) におけるカワウのPCB類異性体組成

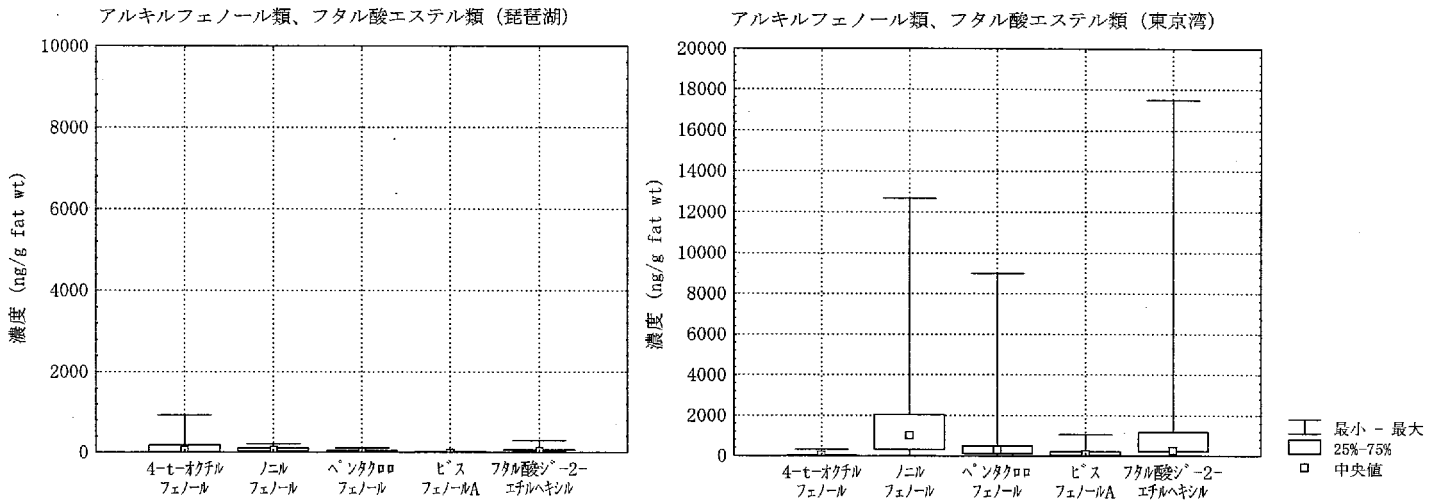


図3 琵琶湖 (左) と東京湾 (右) におけるカワウのアルキルフェノール類、フタル酸エステルの体内濃度

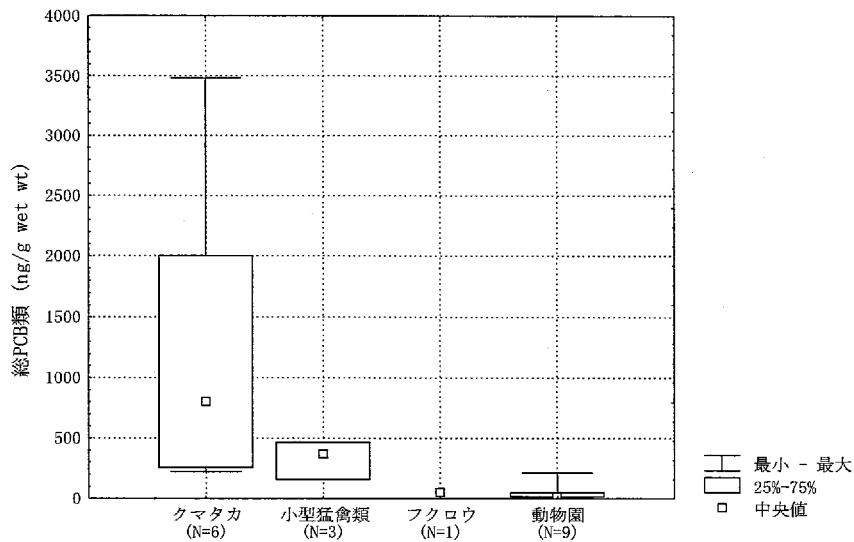


図4 猛禽類の卵の総PCB類の濃度

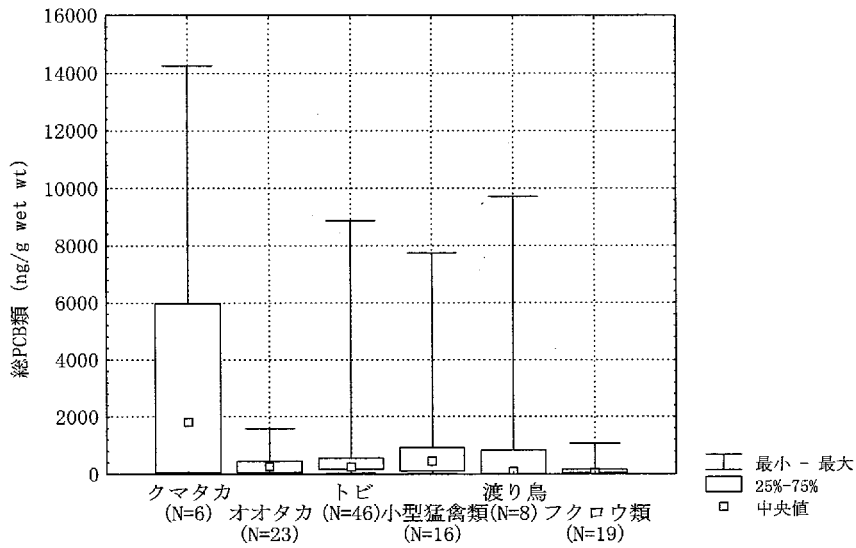


図5 猛禽類の総PCB類体内濃度

表2 平成13年度調査におけるカエル精巣卵出現率 (精巣卵個体数/調査個体数)

種	地域	A	B	C	D	E	F	G	合計
ニホンアマガエル				0/10	0/10	0/10		0/8	0/38
ニホンアカガエル		0/13		0/4		0/5		0/15	0/37
トノサマガエル		0/17			2/11	2/10	5/12	0/7	9/57
トウキョウダルマガエル			0/10						0/10
ツチガエル					0/10			1/5	1/15

表3 平成11年度～13年度調査における精巣卵出現状況 (精巣卵個体数/調査個体数)

種	地域 年度	A		H	B		C	D		E		F	G		合計
		11/12	13	11/12	13	13	11/12	13	11/12	13	13	11/12	13		
ニホンアマガエル		0/10					0/10	0/10	0/10	0/10	0/10		0/11	0/8	0/79
ヤマアカガエル								0/1							0/1
ニホンアカガエル		0/10	0/13	0/87			0/4	0/1			0/5			0/15	0/135
トノサマガエル		0/10	0/17					0/6	2/11	2/10	2/10	5/12	0/10	0/7	11/93
トウキョウダルマガエル				0/10	0/10										0/20
ダルマガエル								0/4							0/4
ツチガエル								0/10	0/10	0/4			2/10	1/5	3/39
ヌマガエル													2/9		2/9